

名が在籍している。日本人は26名。

① 奨学金は3億円くらい
↓特別交付税の対象8割、普通交付税の算定基準1名15万円(5年間)

② キトウシ高原ホテル
雇用促進事業団から町が買収し、公社が運営管理。

町内の65歳以上は、入浴弁当付で500円↓地方創生交付金を活用。これといった営業活動はしていない。施設が古く、改修等が課題。

③ キトウシ森林公園
物産センター見学(公社の事務所)
キャンピング見学↓稼働率は50%で夏場の利用が多い。

◆委員会所感
公社が管理運営している施設が多種にわたっており、個々の施設ごとの収入等を見ると赤字・黒字の部分もあるが、全体でそれぞれの赤字分を補っており、公社としては行政からの補填もなくて

も運営できており、健全な経営がなされている。

公社の構成団体が、地域の産業関係団体も巻き込んで事業を推進しており、行政と関係団体の連携が図られている。

公社は1つの施設管理だけではなく、複数の管理を進めると効果が出ており、スタッフについても責任を持たせた体制になっており、小平町においても運営体制への一考や職員の選任化が必要と考える。

■その他の施設見学

① 西興部村 森の美術館

「木夢」

② 西興部村 道の駅「フラワーパーク花夢」

③ 東川町 道の駅「ひがしかわ道草館」

④ 深川市 道の駅「ライスランドふかがわ」

◆委員会所感
木で作った小さなオモチャや、人の乗れる大きなオモチャまでたくさん

あり、「木育(もくいく)を体験できる森の美術館

「木夢」は、隣接しているホテル「森夢」の増収にも繋がっていると思われる。



各町村の道の駅に立ち寄ってきたが、どの道の駅も地元の商品・物産が多く販売・斡旋されていた。时期的にどの道の駅

も野菜が豊富で、小平町の道の駅も、もう少し地元のものや时期的な物など色々と工夫し、陳列方法も含め夏場の野外販売や実演販売のほか、地元野菜を農家の人に説明して

もらうなど工夫が必要と感じた。

◎委員会所管総括

今回の所管事務調査での三セクのあり方は、その町々の特色を生かし、行政が出来ない部分を補いながら住民のためを考え行動しているところは、どここの町でも同じと感じた。

また、一事業でなく、異なった形態や施設を三セクとして運営するのが黒字化につながると思われた。

小平町としても、ゆったりかんの運営を他のいくつかの町営施設の運営とまとめ、足腰の強い雇用の確保や、冬期間における製造部門への配分などを考慮し、6次化を模索し、検討するときに来ていると思う。

また、空き家対策については先進的な取り組みを参考に、行政だけではなく関連団体等の協力を得ながら、小平町においても空き家の活用について考える必要がある。

議 会 の 動 き

■11月

- 3日 小平町表彰式(議長)
- 5日 小平町文化協会表彰式・町民文化祭芸能発表会(議長)
- 5日 議長杯争奪釣大会授与式(議長)
- 22~24日 町村議会議長全国大会及び行政視察(副議長)

■12月

- 4日 議員全員協議会(6議員)
- 4日 議会運営委員会(委員長外3委員及び議長)
- 7日 第4回定例会開会(議長外5議員)
- 8日 小平・沼田・幌加内3町広域振興協議会町長・議長会議(議長)

- 9日 美味しい地物に感謝祭(議長)
- 11日 第2師団長野澤陸将を囲む会(議長)
- 14日 第4回定例会再開(議長外5議員)
- 14日 議会広報発行特別委員会(委員長外2委員)

■1月

- 7日 小平町成人式(議長)
- 8日 小平消防団出初式(議長)
- 10日 小平町新春交礼会(議長)
- 11日 鬼鹿・臼谷大漁祈願祭(議長)
- 19日 議会広報発行特別委員会(委員長外3委員)
- 19日 議員全員協議会(7議員)
- 26日 鬼鹿小学校落成式典(議長)